

# A2-6. 使用済み弁当容器の回収システムの分類

## —大学生協へのヒアリングをもとに—

○沼田 大輔 (numata@econ.fukushima-u.ac.jp)\*

\* 福島大学 経済経営学類

### (I) 概要・背景

- ・2011年2月時点で、101の大学生協同組合(以下、大学生協)で、リサイクルしやすい弁当容器(例: リリパック)が使われている。
- ・リリパック: 食後に弁当容器の表面に貼られているフィルムを剥がし、残ったきれいなプラスチックを回収し弁当容器の製造元に送れば、新しい容器の材料となる容器
- ・リサイクルをおこなうためには使用済みの弁当容器が回収される必要があるが、その回収方法の実態は十分に把握・整理されているとはいえない。



### (II) 研究方法

- ・筆者がこれまでに現場見学・ヒアリング等をおこなった大学生協のうち、リリパックを採用していた大学生協は、次の通り:
  - 岩手大学生協(2010年3月に現場見学・ヒアリング)
  - 山形大学生協(2010年8月に現場見学・ヒアリング)
  - 福島大学生協(筆者と共同で使用済み弁当容器の回収を実施中。詳細は沼田(2010)を参照されたい)
  - 岡山大学生協(2010年6月に現場見学・ヒアリング)
  - 西南学院大学生協(2009年3月に現場見学・ヒアリング)
  - 松山大学生協(2010年6月に現場見学・ヒアリング。詳細は溝渕・沼田(2011)を参照されたい)
  - 長崎大学生協(2009年3月にヒアリング。詳細は沼田(2009)を参照されたい)
- ・これらをもとに、使用済み弁当容器の回収システムを検討する際の着眼点を整理し(下記のIII)、その着眼点に基づき、使用済み弁当容器の回収システムの実態を分類し、それらの特徴を整理した。(下記のIV)

### (III) 使用済み弁当容器の回収システム検討の着眼点

・表1は、これまでの現場見学・ヒアリングをもとに、使用済み弁当容器の回収システムを検討する際の着眼点を整理したもの:

表1. 使用済み弁当容器の回収システム検討の着眼点の例 (赤字の部分は、IVで、より詳細に検討する)

<販売>	客数、販売量、販売場所数、販売開始時期	
	回収量、回収場所数、特典の提供場所数、回収開始時期	
<回収>	回収実施の有無、回収方法(回収ボックスの設置、容器の返却に対する特典等(現金を渡す、ポイント付与)の提供)	
	<情報伝達>	容器の返却方法の伝達方法、特典提供の伝達方法、伝達場所数
	<特典を提供する場合>	特典の内容、特典提供の開始時期
	<デポジット制度>	特典の財源として、販売時に余分にある額(デポジット)の徴収の有無
	<回収ボックス設置の場合>	徴収している場合はその額、未返却預り金の使途
		回収場所の管理頻度
	複数の回収方法の併存状況	
	レジ袋を減らす取組の実施の有無	
	何らかの団体(例: 大学生協学生委員会、環境サークル)による回収に関する活動	

基本的に  
いずれの着眼点も、  
これまでの調査から  
各大学生協により異なる  
可能性があり、  
回収に影響があると  
考えられる点

山形大学  
山形大学生協同組合  
UNIV. CO-OP 小白川購買店  
領収書 TEL.023-641-8661  
2010年 8月 9日 (月) 13:06 211101  
NO:01-1604 担:30 サイ  
〇〇〇生協コンビニ営業時間〇〇〇〇  
8:30~17:00  
土日祝日・8/13~16休業  
8/17~9/24 10:00~17:00  
〇〇〇〇どうぞご利用ください〇〇〇〇  
058弁当容器代返金 ¥10

---

山形大学生協同組合  
UNIV. CO-OP 小白川購買店  
領収書 TEL.023-641-8661  
2010年 8月 9日 (月) 13:06 211101  
NO:01-1603 担:30 サイ  
〇〇〇生協コンビニ営業時間〇〇〇〇  
8:30~17:00  
土日祝日・8/13~16休業  
8/17~9/24 10:00~17:00  
〇〇〇〇どうぞご利用ください〇〇〇〇  
058弁当容器デポジット ¥350  
058弁当容器デポジット ¥10

### (IV) 使用済み弁当容器の回収システムの分類・特徴

・表2は、表1をベースに、ヒアリングを実施した大学生協について、使用済み弁当容器の回収システムを分類し、その特徴を整理した例:

表2. 使用済み弁当容器の回収システムの着眼点に基づく特徴例

回収方法	回収ボックスで特典なしに回収	レジで現金を渡して回収	レジでポイントを渡して回収
導入例	福島大学生協	山形大学生協	岡山大学生協
販売量 (kg)	837.33	954.63	3219.03
回収量 (kg)	0	325.2	1211.5
特典の内容		返却容器1個あたり10円を支給	返却容器1個あたりスタンプを1つ押印。スタンプが9個たまると100円の現金を支給 or 組合員証にチャージ
デポジット徴収の有無		あり(レシートに表記)	あり(製品・リフレットに表記)
デポジット額 (/個)		10円	10円
未返却預り金の使途		回収ボックスに入れられた容器の未返却預り金はユニセフに寄付。残りはプール中	理事会で協議し決定(環境に限定ではない)。ベンチ、テーブル、AEDを購入した
複数の回収方法の併存状況	なし	あるキャンパスでは回収ボックスと併存(回収ボックスへの返却は、特典の提供なし)	回収ボックスと併存(回収ボックスへの返却は、特典の提供なし)
回収方法が類似の導入例	岩手大学生協 松山大学生協	長崎大学生協	西南学院大学生協



- ・スタンプの価値(/返却容器)
    - > 製品価格に上乗せして支払う額(/購入容器)(10円)
  - ・なお、スタンプの値打ちをどう設定するかは大学生協によって異なる例) 西南学院大学生協:
    - スタンプが10個たまると100円を支給
- 参考) 西南学院大学生協:  
- デポジットを購入時に徴収しているという表記はなし

使用済み弁当容器の回収システムには多様な形態があることを示唆



- ここでの販売量・回収量はヨコタ東北(2011)における、2010年3月から2011年2月までの1年間の出荷総量・回収総量
- ヨコタ東北(2011)が各大学生協の回収状況を反映しているわけでは必ずしもない点に注意。
- \* 例) 福島大学生協の回収量は0kgとなっているが、福島大学生協の「弁当リサイクル容器回収状況」のデータでは、2010年4月から11月までの間に、6125個の弁当容器が回収されている。
- 福島大学生協で回収されたが、福島大学生協の倉庫に留め置かれていた使用済み容器があることが伺われる。

・なお、同様の容器として、食後に弁当容器の表面に貼られているフィルムをはがし、残った紙を回収する容器(ホッかると呼ばれる)がある。それらについても同様の分類・整理が考えられる。

### (V) 今後の課題

・報告者は、2011年6月末から8月初旬に、リリパック・ホッかるを発売している可能性のある全国122の大学生協に回収方法に関するアンケート調査を実施し、現在、その回答の分析を進めている。そのアンケート調査の回答の分析を引き続きおこない、本報告をベースに、いずれの回収方法が効果的かを探る。

#### 参考文献:

- ・ 溝渕健一, 沼田大輔 (2011) 「ごみの分別に関する意識と行動の乖離とその対応策について: 松山大学におけるリサイクル弁当容器の事例」 第22回廃棄物資源循環学会研究発表会講演論文集, pp189-190, ポスター発表 2011/11/4, 13:15-14:30, B2-7
- ・ 沼田大輔 (2010) 「弁当容器回収ボックスの設置とその影響 -福島大学の例-」 第21回廃棄物資源循環学会研究発表会講演論文集 pp13-14. ([http://www.jstage.jst.go.jp/article/jsmcwm/21/0/21\\_7/\\_article/-char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/article/jsmcwm/21/0/21_7/_article/-char/ja/))
- ・ 沼田大輔 (2009) 「大学生協における弁当容器デポジット制度について」 第20回廃棄物資源循環学会研究発表会講演論文集 A3-2 ([http://www.jstage.jst.go.jp/article/jsmcwm/20/0/20\\_19/\\_article/-char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/article/jsmcwm/20/0/20_19/_article/-char/ja/))
- ・ ヨコタ東北 (2011) 「大学出荷・回収量調査 2010.3~2011.2」

謝辞: 本研究は、ヒアリングにご対応くださった様々な方々にお世話になりました。

本研究は、科学研究費補助金(基盤研究B) 21330056の補助を受けて行われたものです。ここに記して感謝します。